

—新除草・調節剤—

NTN-5006除草剤

(取扱メーカー) 日本特殊農薬製造株式会社

対象作物：レタス・イチゴ

性状・作用特性：本剤は、有機燐系の除草剤で、その主成分として、 O -エチル O -(2-ニトロ4-メチルフェニル) N -イソプロピルチオノフォスフロアミデートを50%を含む乳剤である。

本剤は、ヒエ、メヒシバ、スズメノテッポウなどのイネ科、カヤツリグサ科および主要な畑作の広葉雑草に有効である。雑草の発芽前土壌処理で効果がたかい。本剤は、雑草が発芽してくるときに、その上胚軸に取り込まれて分裂細胞に作用し、発芽を止めて枯死させる。

土壌移行性は小、気化しないので残効性が長いことが特徴である。しかも、かるい耕起さえすれば、後作への影響はまず心配ない。

毒性は、急性経口毒性・ 740 mg/Kg (ラット)、急性経皮毒性・ 400 mg 以上/ Kg (マウス)、魚毒性はB類である。しかも、植物体中での分解が容易であるので、残留毒性は問題にならない。

使用方法：イチゴでは、定植後、マルチ前に10アール当たり成分量で150～240gを100ℓ前後の水に溶かして地表にむらなく散布する。レタスでは、定植前後10アール当たり150～240gを同じように散布する。イチゴ、レタスとも薬害は、苗立や気候に影響されやすいので、定植後の処理では、なるべく心葉にかからないよう注意してほしい。

使用上の注意：雑草の発芽後は効果がおちるので、必ず雑草の発芽前に処理すること。定植後の処理では、できるだけ心葉にかからないよう散布すること。

DC-55 除草剤

(取扱メーカー) 武田薬品工業株式会社

三笠化学工業株式会社

八洲化学工業株式会社

大日本インキ化学工業株式会社

対象作物：陸稲、ニンジン

性状・作用特性：本剤は、4-ターシャリーブチル-2,6-ジメチル-3,5-ジニトロアセトフェノン20%を含む乳剤であり、発芽時の種子に最も強く作用し、茎葉処理効果はない。したがって、土壌処理剤として使用され、禾本科および広葉の一年生雑草の発生を抑える。ニンジン、セロリ、パセリ科のセリ科作物、および禾本科の中では、稲がこの薬剤に対して抵抗性をもっている。土中移行性は、砂壤土でも2cm以内で、PCP-Naのそれよりさらに小さい。残効性は、40日程度である。

人畜魚毒性は低く、急性経口毒性はマウス $LD_{50} = 3,880\text{ mg/Kg}$ 、ラット $LD_{50} = 5,850\text{ mg/Kg}$ であり、魚毒性はコイ $LC_{50} = 100\text{ ppm}$ 以上である。

使用方法：陸稲、ニンジンに対しては、播種、覆土後、土壌表面に噴霧器で雑草発生前に散布する。10a当たり使用量は、1,000～1,500ℓである。